

第2回 サブオービタル飛行に関する官民協議会 議事要旨

1. 日時 令和2年7月14日（火） 11:00～12:15

2. 場所 WEB会議

3. 議事

(1) 国内事業者の開発状況

(2) 実証実験WG、将来課題検討WGの状況報告

(3) スペースポートに関する海外動向

(4) 今後の取組

4. 出席者 別添のとおり

5. 議事概要

○冒頭、共同事務局を代表し、松尾内閣府宇宙開発戦略推進事務局長及び川上国土交通省航空局安全部長から、挨拶があった。

○議事（1）に関して、資料1-1に基づきPD エアロスペースから、1-2に基づきSPACE WALKER から開発状況の説明がされた。

○議事（2）に関して、資料2-1、2-2に基づき事務局から実証実験WG及び将来課題検討WGの検討状況について説明があった。今後、各国・国際機関の対応状況調査を実施するにあたり、政府機関を中心に役割分担を決めて実施することとした。また、今後の飛行実証への対応については、各社ごとの実証実験WG（非公開）の中で検討していくことが確認された。

○議事（3）に関して、資料3に基づきSpace Port Japanから、スペースポートに関する海外動向について説明がされた。今後の検討に当たり、海外動向を踏まえて検討することの重要性について提議があった。

○議事（4）に関して、資料4に基づき事務局から、宇宙基本計画の改訂について説明がされた。また、工程表について、今後、毎年末に向けて進捗状況に応じて

工程の見直しを行っていくことが確認された。さらに、サブオービタル飛行に関する法整備に向けて、工程表上は2024年までに環境整備を行うこととされているが、より具体的なロードマップを示して欲しいとの提議があり、これに対して事務局より、法律改正を行う場合は、事前の準備や改正後の政省令制定及び事業者周知等も必要であることから、これらに要する時間も意識して準備を進めたい旨回答を行うとともに、環境整備の前提となる実証実験の成功が重要との認識が示された。また総務省から、電波利用に関する海外調査について、サブオービタル飛行に関する内容を共有する旨の発言があった。

以上

(別添)

【出席者】

株式会社SPACE WALKER取締役CTO	米本 浩一
PDIアロスペース株式会社代表取締役社長	緒川 修治
一般社団法人Space Port Japan代表理事	山崎 直子
一般社団法人日本航空宇宙工業会技術部部長(宇宙担当)	宇治 勝
内閣官房副長官補室内閣参事官(科学技術担当)	松浦 重和
総務省総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課長	片桐 広逸
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課長	藤吉 尚之
経済産業省製造産業局宇宙産業室長	是永 基樹
国土交通省総合政策局技術開発推進室長	伊崎 朋康
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構経営推進部企画調整課長 事務局	森 有司
内閣府宇宙開発戦略推進事務局長	松尾 剛彦
内閣府宇宙開発戦略推進事務局参事官	中里 学
国土交通省航空局安全部長(代理出席)	川上 光男
国土交通省航空局総務課政策企画調査室長	竹内 大一郎